

## 変化への挑戦・低炭素社会に向けて 省エネ・節電需要に応える

3・11東日本大震災とそれに続く福島第一原発事故を機に、わが国のエネルギー政策は大きく変わろうとしています。すでに大震災前から低炭素社会の実現に向けた大きなうねりがありましたが、大震災により災害に強く分散型でクリーンなエネルギーであるLPガスへの関心が一段と高まっています。併せて太陽電池、燃料電池、蓄電池3兄弟も今後急成長すると見込まれています。

石油化学新聞社では低炭素社会の到来に向け、「ガス業界の生き残る道」と題した環境セミナーを過去3回開催してまいりました。今や太陽電池の普及は急ピッチで進み、燃料電池も技術面・価格面で普及のためのハードルが年々下がり、今年は一段と効率を高めた製品が上梓されます。蓄電池の市場投入も間近です。

こうした機会を捉え、石油化学新聞社では「環境の時代」をにらみつつ、LPガスの需要創造に焦点を当てると共に、新エネルギーに関連する首題のセミナーを開催することにしました。時代の変り目に、不安を抱える事業者が多くあると見受けられます。当セミナーを受講され、少しでも今後の経営に生かされることを期待します。

セミナーでは岩谷産業より産業用・家庭業務用などの燃転をにらんでのLPガスの需要創造、ENEOSグローブより3電池など新エネルギー技術の開発動向とLPガス業界の進むべき道、業界でいち早く太陽光発電に取り組んできた和泉プロパンよりこれまでの経験を踏まえての家庭用自立型電源の確立、田島興産より地域密着の秘訣など、多彩な講師陣をお招きしました。

ガス体エネルギー事業者の方々がお参加下さるようお勧めします。

2012年3月

株式会社石油化学新聞社  
代表取締役社長 成富 治  
福岡支局長 田中米満

# 変化への挑戦・低炭素社会に向けて 省エネ・節電需要に応える

日時＝平成24年4月27日（金） 開講午後1時 閉講午後5時予定 （受付開始午後12時半）

会場＝ホテルレガロ福岡 （福岡市博多区千代1-20-31）

## 講演テーマと講師

「スマートエネルギーについて」（LPガスの可能性を探る）

岩谷産業株式会社 総合エネルギー本部 エネルギーサービス部 中谷豪太氏

「LPG業界の新エネルギー戦略」（低炭素、省エネルギー社会に向けて）

ENEOSグローブ株式会社 執行役員市場開発部長 大野耕太郎氏

「家庭用自立型電源の確立に向けて」

株式会社和泉プロパン 社長 和泉光信氏

「LPガス販売店の可能性」

田島興産株式会社 社長 田島広一氏

参加費＝お一人 1万円 （テキスト、消費税等含む）

お申し込み先＝FAX 092-271-2878

下記の申込書にご記入の上ファクシミリにてお申し込み下さい。

申し込み締切日＝2012年4月13日（金） 定員になり次第締め切ります。

.....  
環境セミナー2012 in 九州 聴講申込書  
FAX092-271-2878

社 名	
所在地	〒  電話
聴講者名	
所属部署名	
特記事項	